

銘柄分析レポート：好業績小型株

1 はじめに

下図は、内需型の中小型株を好む個人投資家のパフォーマンスと相関性の高い、JASDAQ 平均の株価チャートです。

2009年に底打ちし、2013年以降は上昇の続いていたJASDAQ平均ですが、今年に入ってから変調をきたしています。2月以降は月足ベースでの陰線が連続し、7月には12カ月移動平均線を割り込んでしまいました。中小型株に関しては、すでに潮目が変わっているのかもしれない。

こういった状況下にて、株価の下げている銘柄を「低PERである、高配当利回りである」といった値頃感から買い向かうのはリスクです。「何か表面化していない悪材料が隠されているのではないか」と疑ったほうが火傷を負わなくて済みます。

現時点で中小型株のポジションを持ちたい場合、次の3つをすべて満たしている銘柄に限定すべきでしょう。今回の銘柄分析レポートでは、これらの条件に合致する2銘柄を取り上げます。

- 株価が割安である
- 直近の決算が好調だった
- チャートが崩れていない

★ JASDAQ 平均 株価チャート (月足)

